

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語演習Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0066	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電気制御システム工学科	対象学年	4		
開設期	後期	週時間数	後期:2		
教科書/教材	TOEIC L&R Test: 500 Power Phrases (南雲堂)、TOEIC Listening&Reading 公式ボキャブラリーブック (IIBC)、プリント教材				
担当教員	富田 尚				
到達目標					
①TOEICで扱われる英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙を適切に活用できる。 ②TOEICで扱われる英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる文法・構文を適切に活用できる。 ③習得した語彙・文法・構文を基に英文を読み、その意味内容が理解できる。 ④習得した語彙・文法・構文を基に英文を聴き、その意味内容が理解できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
語彙	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙が十分身についている。	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙が身についている。	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙が身につけていない。		
文法・構文	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる文法・構文が十分身についている。	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる文法・構文が身についている。	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる文法・構文が身につけていない。		
読解力	習得した語彙・文法・構文を基に英文を読み、その意味内容が十分に理解できる。	習得した語彙・文法・構文を基に英文を読み、その意味内容が理解できる。	習得した語彙・文法・構文を基に英文を読むが、その意味内容が理解できない。		
聴解力	習得した語彙・文法・構文を基に英文を聴き取り、その意味内容が十分に理解できる。	習得した語彙・文法・構文を基に英文を聴き、その意味内容が理解できる。	習得した語彙・文法・構文を基に英文を聴くが、その意味内容が理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達目標 A-1 JABEE 1(2)(f) ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	この授業は、TOEICテストの問題演習を行うことを通して、英語4技能のうち特にListeningとReadingのレベルを向上させることを目標とする。				
授業の進め方・方法	講義及び演習				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 必ず予習をして臨んでください。 復習をして文法や語彙の定着を図ってください。 音声CDを利用してリスニングや音読に取り組んでください。 授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合があります。 				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Unit 8	「ビートのきいた表現」を理解する	
		2週	Unit 8	「ビートのきいた表現」を理解する	
		3週	Unit 9	困難な時の英語の表現を理解する	
		4週	Unit 9	困難な時の英語の表現を理解する	
		5週	Unit 10	誇張する英語の表現を理解する	
		6週	Unit 10	誇張する英語の表現を理解する	
		7週	Unit 11	評価をする英語の表現を理解する	
		8週	Unit 11	評価をする英語の表現を理解する	
	4thQ	9週	中間試験	学習範囲の試験をする	
		10週	中間試験の返却、解説 Unit 12	中間試験の振り返りをする 色で感情や状況を表す英語の表現を理解する	
		11週	Unit 12	色で感情や状況を表す英語の表現を理解する	
		12週	Unit 13	人間関係についての英語の表現を理解する	
		13週	Unit 13	人間関係についての英語の表現を理解する	
		14週	Unit 14	暮らしの中の英語の表現を理解する	
		15週	期末試験	学習範囲の試験をする	
		16週	期末試験の返却、解説	期末試験の振り返り、アンケート	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	課題	File	合計	
総合評価割合	85	10	5	100	
基礎的能力	85	10	5	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	